

統合小学校の建設予定地が再度白紙になったことに伴い、昨年12月に町から「学級人数20人程度を再編するための再編」についての意向を取りまとめて報告するようにと改めて要請がありました。これに対し、保護者の意向を最重要視することとし、保護者の意見交換会やアンケートを行ったうえで、3月14日に協議会を開催し、「条件付きで同意する」という結論を取りまとめました。

本報告では、亀嵩校区としての結論及び、結論に至った経緯、今後に向けた課題等をまとめてご報告致します。

これまでの経緯

昨年8月にご報告させて頂きました通り、亀嵩地区では町の要請を受け、小学校再編について地区の意見を取りまとめるため、「校区別協議会」を設置し、協議を進めてきました。

しかし、報道などでもご存知の方が多くかと思いますが、統合先の校舎となる仁多地区統合小学校(仮)(※現三成小学校)の建設場所が再度白紙になったことを受け、仁多地区の統合は予定していた令和7年3月の統合が難しい状況になりました。

町教育委員会からは、昨年12月に「学級人数20人程度を再編するための再編」についての意向を取りまとめて報告するようにと改めて要請がありました。

当協議会としては、本来であれば再編の是非は、学校の場所や通学方法、学校設備や学校の教育方針等を勘案して検討を進めるべきと考えてきました。町とのやり取りの中で、今回の報告で「同意する」とした場合においても、その後の協議が進む中、条件が合わないとなった場合には、統合しないという選択もありうると回答を得ています。

再編の詳細な条件が決まらない中ではありますが、協議を前に進めるためにも、まずはこの「学級人数20人程度を再編するための再編」についての意向を取りまとめることとして、検討を進めることとしました。

取りまとめの方法としては、保護者の意向を最も大事にして結論を出していくべきとする方針のもと、保護者の意見交換会やアンケートを行ってきました。

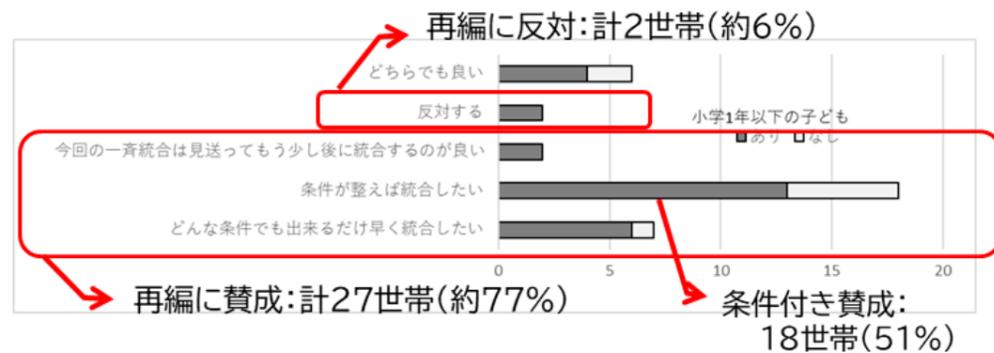
保護者アンケートの結果

亀嵩地区在住で、小学生以下の子どもがいる世帯を対象に、アンケートを行いました。対象の44世帯のうち、35世帯から回答を頂きました(有効回答率79.5%)

アンケートでは、小学校再編についての賛否のほか、再編する場合の条件についての設問を設けました。

※ アンケート結果については、町教育委員会「小学校再編」ページの中の「各校区での取り組みについて」の中に詳しく掲載されています。

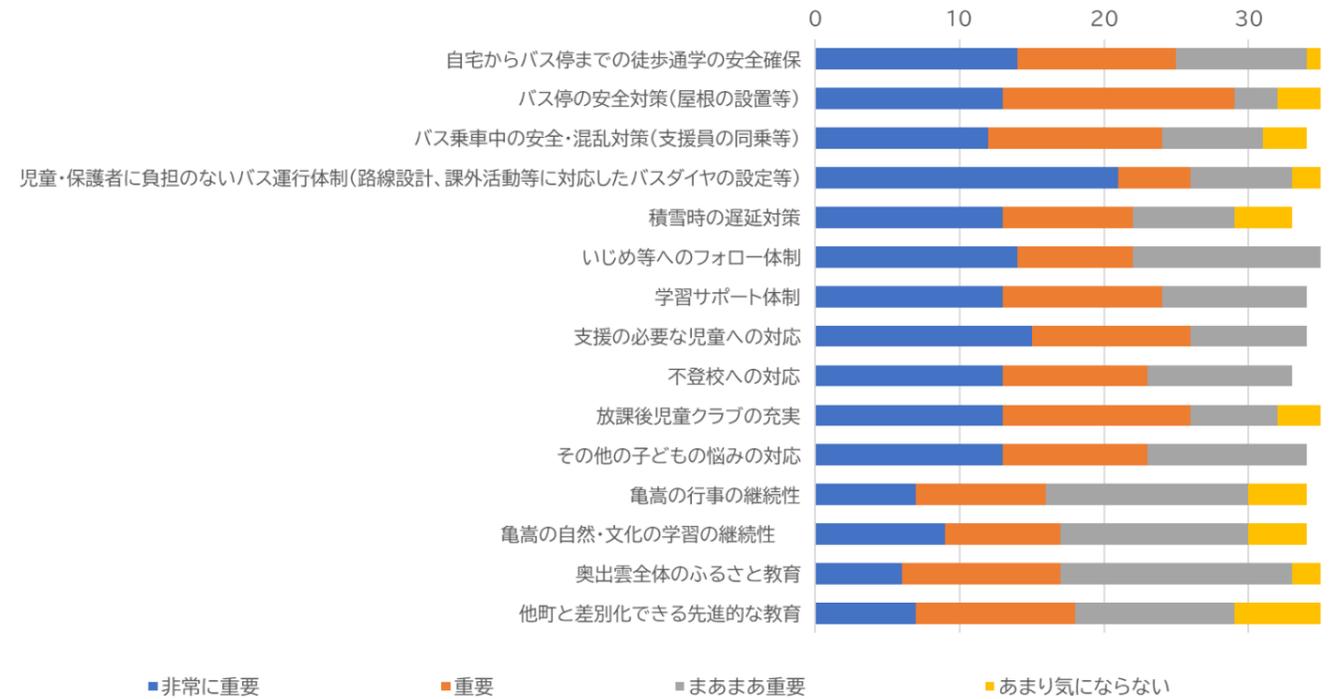
① 再編についての賛否



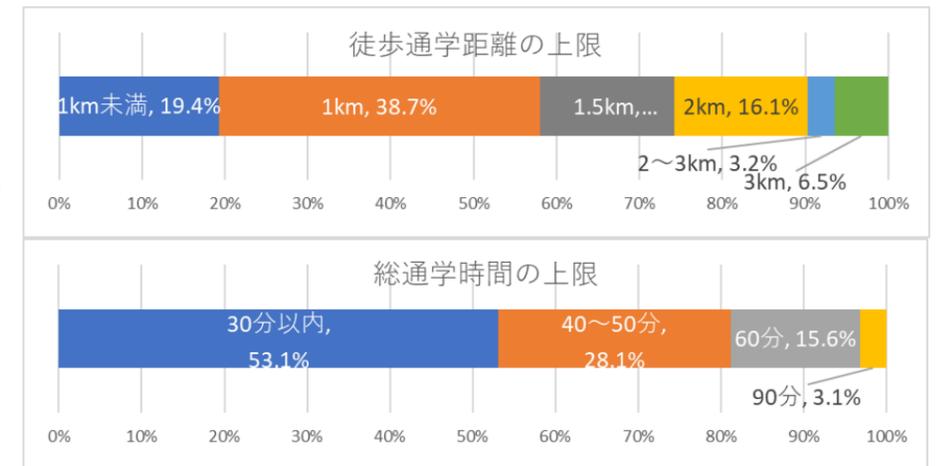
② 再編する場合の条件

この設問では、条件が整わなければ統合しない場合を「非常に重要」として、再編する場合の条件についての意見を回答して頂きました。

「非常に重要」とした回答が最も多かったのは「児童・保護者に負担のないバス運行体制(路線設計、課外活動等に対応したバスダイヤの設定等)」でした。21世帯(60%)の方が「非常に重要」と回答されました。



また、自宅からバス停までの徒歩通学距離の条件として考える距離の平均は1.29km、自宅から学校までの総通学時間の上限の平均時間は約38分となりました。



亀嵩地区の意向とりまとめ

3月14日(月)に協議会を開催し、保護者アンケートの結果やこれまでの町とのやり取りを踏まえて、亀嵩地区としての意向を取りまとめました。

そして、「学級人数20人程度を再編するための再編」に、保護者の意見・要望に向き合って今後の協議を進め、子どもたちが安心して通える学校づくりを確実に進めていくことを条件として同意するという結論に至りました。

「条件付きで」としたのは、学校の建設場所や統合時期、通学条件等、懸案事項が未確定のままという状況であることから、町へ白紙委任するのではなく、場合によっては統合しない可能性もありうると示すことで、子どもたちが安心して通える学校づくりをしっかりと進めていくことを確実にしていきたいということからです。アンケートでは、半数以上の保護者が「条件が整えば統合に賛成」と回答していましたので、こうした保護者の再編条件についての考えも町に伝えています。

再編に関する課題とこれからの協議

各校区の意向

3月29日、「校区別協議会代表者会議」が開催され、各校区の意向取りまとめの結果が報告されました。

結果は、仁多・横田とも、全校区が「20人程度の学級規模を確保するための再編」について「同意する」と回答したとのことです。ただし、補足意見として『将来の児童数の事を考慮すると「やむを得ず同意する」が多数だが、建設地・通学方法・安全確保等の問題が解決されていない中では全面的な合意はできない(布勢)』『不明確となっている建設候補地や統合時期について、早期に決定するよう最大限の努力をお願いするとともに、より良い統合となるよう引き続き保護者をはじめ関係者との議論を深めながら事業を進めて頂きたい(阿井)』『現段階で考えられる最も早い統合時期となる令和8年4月には再編できるように進めて頂きたい』など付記している校区も多くありました。

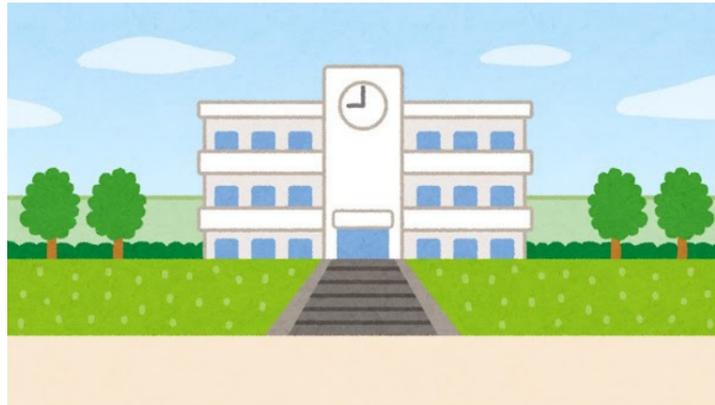
今後の再編協議では、学校の建設地をはじめ、様々な課題を、詳細に検討していく必要があります。

1 学校建設地について

仁多地区の統合小学校は、三成小学校を建替えて利用することとされています。その建設地は、当初は仁多中隣接地とされましたが、撤回・再検討の結果、現三成小学校敷地内での建替えという案が昨年示されました。しかし、不同意の校区があること、議会や商工会、建設業協会等からも異論が示されたことなどから、広く意見を聞いたうえで、改めて決定することとなっています。

建設地の決定から校舎の完成まで数年が掛かります。建設地によっては土地の造成や用地買収等が必要な場合も想定されます。町からは、建設地が決まっていない現在、「再編方針の修正について」で示された統合予定年月である令和7年4月の統合は難しい状況であると説明されています。また、学校の場所が決まらなければ、具体的なバス路線や通学時間、学校施設・設備等についての検討が進みません。

再編協議を進めるうえで、小学校の建設地の決定は大きな課題となっています。



○ 仁多地区統合小学校建設地決定に関する動き ○

年	月	できごと
H31年	3月	小学校再編方針発表。三成小学校を仁多中隣接地に、仁多地区の統合小学校は新三成小とすると提示された
R元年	9月	予定地が土砂災害特別警戒区域に指定されることとなった。協議を中断し、建設地を含め再編方針が修正されることとなった
R2年	3月	「再編方針の修正について」発表。三成小学校の建設予定地は、仁多地域の校区別協議会代表者会議などで協議を行って行く旨が示された
R3年	5月	総合教育会議において、学校建設地についての候補の中から、現三成小学校敷地内で、体育館を除くすべての建替えを行うという案が採択された 校区別協議会代表者会議で上記建設地案が提示された。7月に改めて各校区に対し、同意・不同意のとりまとめが要請された
	9月	議会で、現三成小敷地の商業用地活用の提案等がなされた
	11月	各校区の意向取りまとめ結果発表。6校区のうち2校区から「同意」が得られなかったことを受け、「協議会の意見要望を尊重しながら、議会やその他住民からも広く意見を伺ったうえで改めて決定する」旨が示された 商工会・建設業協会の連名で、現三成小学校敷地への建て替え案の見直しの要望書が提出された。

② 通学条件について

校区別協議会代表者会議で集められた各校区の要望の中で、最も大きな比重を占めていたのが、通学条件に関することでした。保護者アンケート結果でも、再編の条件として「児童・保護者に負担のないバス運行体制」が「非常に重要」とした世帯は6割に上るなど、通学に関する事項は保護者の大きな関心事項となっています。部活等の関係で学校まで保護者が車で送迎をする必要があるのではないかとという点や、バス停までの徒歩通学の距離、自宅から学校までの通学時間、積雪時のバスの遅れ、屋根のないバス停で待つこと、バス内で騒ぐ・バス酔い等、課題は様々ありますが、一つ一つ検討し、子どもが安心・安全に通える、また、保護者の負担が増えない通学条件の整備を進めていく必要があります。



③ 学校づくりについて

通学条件や建設場所等の議論が主になってしまい、どのような学校を作っていくのかという面の議論まであまりなされていません。統合することにより、児童数が増えること以外のメリットがあまり示されていません。「教育版タウンミーティング」で広く意見を交わすとされていましたが、開催を予定していた令和4年2月に町内での新型コロナウイルス感染の拡大を受けて延期となってから、開催予定はまだ決まっています。

④ 小学校跡地活用について

再編統合により廃校となる校舎の跡地利用については、地区の拠点施設として公民館機能を移転し活用する等の例示が出されていますが、具体的なことは、令和4年度以降に地区からの具体的な活用提案を基に検討していくとされています。

今後の協議会の活動について

再編については、条件付きでの同意としましたが、上述のとおり、様々な課題が残っている状況です。再編の具体的な条件等は今後詳細な協議を進めていく必要があります。一方、学校の建設場所が決まらない中、協議の具体的な進捗が望めません。そこで、協議会の活動はいったん休会とし、今後、学校の建設場所や統合時期が決まって協議を進めることになれば、改めて委員を招集することとしました。(本協議会は、もともと町の再編方針に対する地区の意向を取りまとめるまでの令和3年度末までを期限として組織していました。)

これまでの協議会の活動及び今回の「条件付き同意」という結論については、様々なご意見があらうかと思えます。今後、検討を再開する段になりました場合、より一層、様々な方にご参加頂き、よりよい学校づくりの検討を進めていく必要があると考えています。

協議会はいったん休会となりますが、引き続き、ご協力のほどよろしくお願いいたします。

よろしくお願いします

